

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

岐阜県 垂井町

| 業務名       | 業種名         | 事業名    | 類似団体区分 | 管理者の情報                         |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法非適用      | 下水道事業       | 公共下水道  | Cc2    | 非設置                            |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円) |
| -         | 該当数値なし      | 66.35  | 68.45  | 3,850                          |

| 人口(人)      | 面積(km <sup>2</sup> )     | 人口密度(人/km <sup>2</sup> )      |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 26,058     | 57.09                    | 456.44                        |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km <sup>2</sup> ) | 処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> ) |
| 17,210     | 6.06                     | 2,839.93                      |

## グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）

【】 令和5年度全国平均

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

・経営の健全性について  
収益的収支比率・経費回収率は100%を上回っています。これは、当年度の収支が黒字であり、使用料で回収すべき経費を全て使用料で賄えていることがいえます。主な理由につきましては、公共下水道事業は令和6年度より法適用事業となったため、令和5年度は打切決算となり、未払金が発生し、費用や汚水処理費が減少したためです。ただし、未払金を含めたとしても電気代が前年度と比較して減少しましたので、数値は前年度と比較して上昇していると考えられます。

また、汚水処理原価も打切決算に伴う未払金の発生及び電気代の減少により、前年度と比較して数値が減少しました。

企業債残高対事業規模比率につきましては、浄化センターの増設に伴い下水道債の額も増加したため数値が上昇しました。

・経営の効率性について  
施設利用率につきましては、処理区域の拡大により処理水量が増加し、前年度と比較して数値が上昇しました。今後も整備区域拡張により増加が見込まれます。（晴天時平均処理水量を訂正 R2 78.61%）  
水洗化率につきましては、昨年度とほぼ横ばいになりました。広報等でPRを行い接続率の向上を図っていきます。（処理区域内人口及び処理区域面積を訂正 R1 69.61%、R2 69.08%）

### 2. 老朽化の状況について

浄化センターは平成14年度の供用開始で、耐用年数を超えている設備が多くあるため、今後はストックマネジメント計画に基づき計画的な更新を行います。

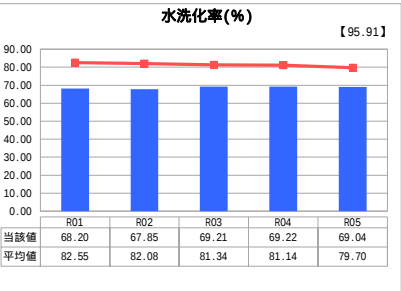
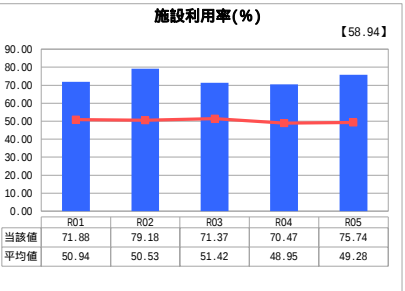
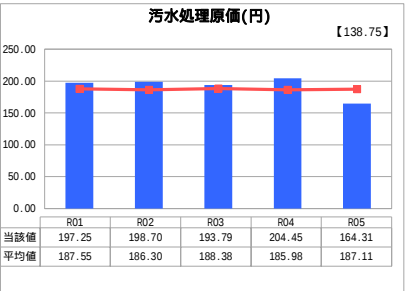
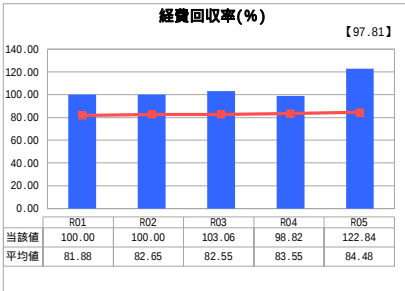
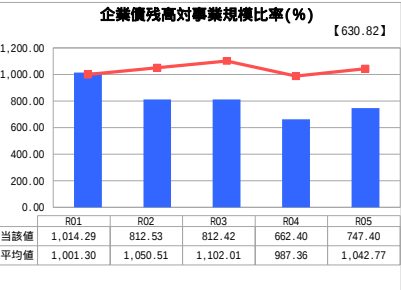
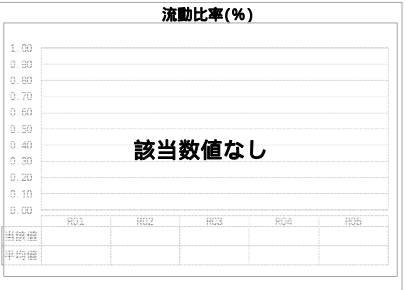
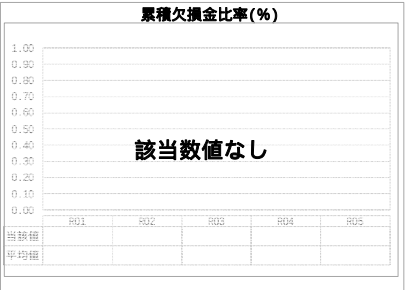
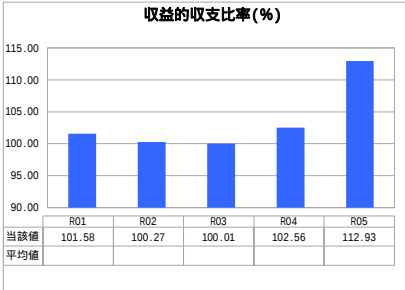
管渠については、平成29年度よりカメラ調査を実施し幹線管渠の点検を行っています。異常箇所が発見された場合は、直ちに修繕を行い対応しています。

## 全体総括

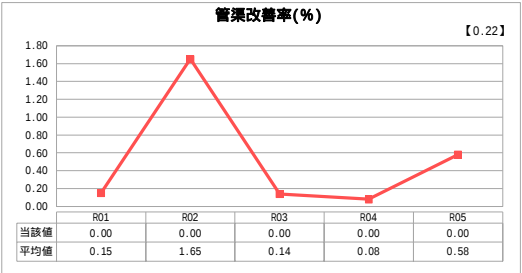
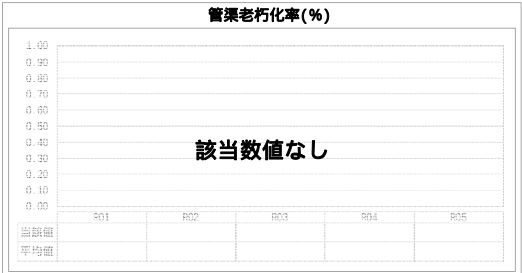
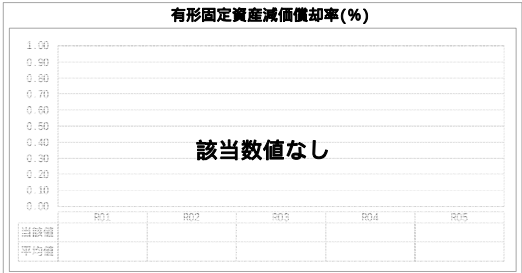
整備区域の拡張により使用料収入は増加することが見込まれますが、一般会計からの繰入金に依存している状況であり、維持管理費の削減や未接続世帯に対する接続の普及啓発活動を行い水洗化率の向上を目指していきます。

また、経営状況を正確に把握するため、令和6年度より公営企業会計へ移行しました。

### 1. 経営の健全性・効率性



### 2. 老朽化の状況



法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。